	〒018-3201 藤琴字藤琴8 ☎ (0185) 79-2111 FAX (0185) 79-2293 ホームページ http://www.shirakami.or.jp/~fujisato/ Eメール fujisato@shirakami.or.jp	主な地域指定 過疎 辺地 特別豪雪 振興山村 地方拠点	一部事務組合加入事業 議員公務災害 し尿処理 非常勤公務災害 ごみ処理 退職手当 常備消防 老人福祉 その他	公 営 企 業 簡水 下水道 介護サービス
	類型 I-1   コード番号 053465			基本構想 平16～平25年度 基本計画 平21～平25年度

<概 要>

(1) 面積 (県下11位)

総面積 (平21.10.1)	耕地 (平21.7.15)	宅地 (平21.1.1)	山林 (平21.4.1)
281.98km <sup>2</sup>	10.20km <sup>2</sup>	1.10km <sup>2</sup>	239.82km <sup>2</sup>

(2) 人口 (県下22位)

平7.10.1	平12.10.1	平17.10.1	平22.10.1
5,024	4,708	4,348	3,837
人口増減率 (H17-H22)	△11.8%	高齢化率 平22.7.1	39.4%
		人口密度	13.61 人/km <sup>2</sup>

(3) 世帯数

平7.10.1	平12.10.1	平17.10.1	平22.10.1
1,430	1,435	1,407	1,322

(4) 有権者数 (平22.9.2現在)

男	女	計
1,649	1,849	3,498

(5) 沿革

昭30.3.31 合体 藤琴村、粕毛村  
昭38.11.1 町制施行

<組 織>

(1) 議会 (平22.9.1現在)

議長	ふじ 原 幸 美	議員数	法定上限数	14人
副議長	い 藤 勉	法定数	条例定数	10人
任期	平24.3.30	党派別 内 訳	共1 無所属10	

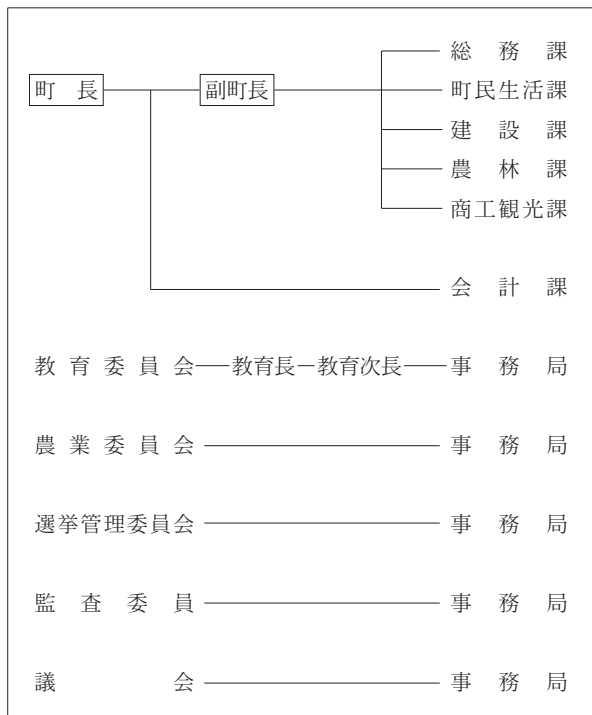
(2) 二 役 (平22.9.1現在)

町長	いし おか ねんいちろう 石 岡 鍊一郎 (4期～平23.8.8)	副町長	むら おか みのる 村 岡 實
----	---	-----	--------------------

(3) 職員数 (平22.4.1現在)

区 分	職員数	左 の 職 別 内 訳	区 分	職員数
普通会計 (うち施設関係)	65 (5)		一般行政職	52
人口千人当たり	16.28	技能労務職	6	
類似団体	16.45	企業職	-	
公営事業会計関係	6	消防職	-	
計	71	教育職	4	
		その他(内税務職)	9 (3)	

<行政機構>



<産業・経済>

(1) 産業構造 (百万円・人・%)

区 分	農 業 林 業 水 産 業 計	総生産額 (平19年度)		就業人口 (平17.10.1現在)	
		金額	割合	人数	割合
第1次	農 業	460	4.9	392	19.1
	林 業	68	0.7		
	水 産 業	0	0.0		
	計	528	5.6		
第2次	鉱 業	130	1.4	683	33.2
	製 造 業	349	3.7		
	建 設 業	651	7.0		
	計	1,130	12.1		
第3次	計	7,710	82.3	980	47.7
分類不能				0	0.0
合計		9,368	100.0	2,055	100.0

(2) 一人当たり分配所得 (19年度)

1人当たり 分配所得	1,462千円
	県下 25 位

(3) 主要農産物・名産・特産品

アスパラガス・白神ワイン・白神山水・ネギ・まいたけ・サフォーク種ホゲット・白神菜油・リンドウ

(4) 主要製造業 (平20年) (万円)

順位	品 名	製品出荷額等
1	織 維 製 品	36,560
2	食 料 品	8,456
3	-	-

(祭・行事) ・豊作踊り (9月8日) ・根城豊作相撲 (9月) ・紅葉祭 (10月)  
・藤駒岳登山 (10月) ・町民祭 (10月) ・白神山地食祭 (10月)

＜財 政＞

(1) 決算収支 (普通会計)

(百万円)

区 分	歳 入	歳 出	形式収支	実質収支	単年度収支	実質単年度収支	積立金現在高	地方債現在高
平19決算	3,236	3,171	65	65	△ 22	101	414	3,642
平20決算	3,172	3,109	64	42	△ 24	75	491	3,443
平21決算	3,552	3,439	114	75	34	83	642	3,309

(2) 主な歳入歳出

(百万円・%)

区 分	21 決 算 (普通会計)	対前年比 (決算間比較)	22当初予算 (普通会計)	対前年比 (当初間比較)
地 方 税	239	△ 4.8	230	3.1
地 方 交 付 税	1,911	2.1	1,645	0.6
国 県 支 出 金	602	113.5	327	25.3
地 方 債	318	9.3	311	2.3
歳 入 合 計	3,552	12.0	2,935	1.0
義 務 的 経 費	1,289	△ 2.3	1,302	0.4
人 件 費	609	1.7	605	△ 2.4
扶 助 費	180	1.7	197	20.1
公 債 費	500	△ 7.9	500	△ 2.5
物 件 費	442	15.7	459	9.8
投 資 的 経 費	643	71.9	365	10.3
普通建設補助	82	54.7	68	△ 33.3
事業費単独	500	57.2	294	30.1
歳 出 合 計	3,439	10.6	2,935	1.0

(3) 主要指数

区 分	21 年 度	20 年 度	類似団体 (20年度)
標 準 財 政 規 模	2,238 百万円	2,180 百万円	1,631 百万円
歳 出 決 算 倍 率	1.54 倍	1.43 倍	1.52 倍
経 常 収 支 比 率 (含減収補てん債特例分、臨時財政対策債)	81.7%	88.9%	86.7%
財 政 力 指 数 (3カ年平均)	0.14	0.15	0.23
実 質 収 支 比 率	3.4%	1.9%	5.8%
地 方 債 現 在 高 倍 率	1.48 倍	1.58 倍	1.76 倍
健 全 化 判 断 比 率	実質赤字比率	—	—
	連結実質赤字比率	—	—
	実質公債費比率	17.6%	18.0%
将来負担比率	127.2%	151.4%	—
税 の 徴 収 率	93.2%	93.4%	95.4%
積 立 金 現 在 高	642 百万円	491 百万円	994 百万円
	うち財調・ 減債基金	525 百万円	456 百万円
ラ ス パ イ レ ス 指 数	93.2	92.4	—

※ラスパイレス指数の欄中「21年度」はH21.4.1現在、「20年度」はH20.4.1現在  
※「—」は赤字、資金不足がないことを示す

(4) 財源及び支出の状況(構成比)

(%)

区 分	21年度決算	県平均 (21年度)	20年度決算	類似団体 (20年度)
一 般 財 源	63.2	59.6	70.1	64.6
自 主 財 源	17.6	26.1	19.8	27.5
義 務 的 経 費	37.5	40.2	42.4	39.9
投 資 的 経 費	18.7	16.1	12.0	15.1

＜公共施設整備状況＞ (21年度)

(%)

区 分	当該団体	
道 路	改 良 率	66.6
	舗 装 率	59.6
公 園	人口1人当たり面積(m <sup>2</sup> )	12.7
上 水 道 等	普 及 率	92.1
下 水 道 等	普及率(処理人口)	66.8
	水洗便所設置率	72.3
公 営 住 宅	世 帯 数 比 率	4.3

＜教育・医療・福祉・その他＞

教 育 (22.4.1)	区 分	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	
	施設数	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
医 療 (22.3.31)	区 分	病 院		診 療 所		
	施設数	0 (0床)		3 (0床)		
福 祉 (22.4.1)	区 分	保 育 所	特 養 老 人 福 祉 センター	養 護 老 人 福 祉 センター	老人福祉 センター	デイサービス センター
	施設数	1 (0)	1.2 (1)	0.1 (0)	0	2
	定員(人)	40 (0)	57.3 (50)	4.9 (0)	—	—
そ の 他 施 設 (22.3.31)	区 分	公 会 堂 ・ 市 民 会 館	公 民 館	図 書 館	体 育 館	野 球 場
	施設数	0	1	0 (0)	4 (0)	1 (0)

※教育の欄中、県立及び市町村立以外を( )で内書  
※福祉の欄中、市町村立・一部事務組合等管理施設以外を( )で内書  
※福祉の欄中、施設数および定員数が小数となるのは一部事務組合等管理施設における按分のため  
※福祉の欄中、老人福祉センター及びデイサービスセンターは市町村立以外を含む  
※その他施設の欄中、市町村立以外を( )で内書

＜その他＞

- (町の木) ・ぶな
- (町の花) ・ふじ
- (町の鳥) ・クマガエラ
- (名所・旧跡) ・素波里国民休養地・太良峡・釣瓶落柿
- 田苗代温泉・駒ヶ岳・岳岱自然観察教育林(ブナ林)
- 田中の大銀杏
- 水神の大ケヤキ・湯の沢温泉・小岳・峨巖大滝

＜平成22年度主要施策＞

(百万円)

○馬坂橋架替事業	76
○町民体育館屋根葺替事業	31
○下水道処理施設普及促進奨励金	12
○林道開設事業	47
○ほ場整備事業	16

＜今後の主要課題＞

簡素で効率的な行政規模の追求  
自然環境との調和を重視した循環型社会の形成  
少子・高齢化への対応と住民福祉の向上